

株式会社

大宮産業

組織の概要

- * 代表者：代表取締役 竹葉 傳
- * 所在地：四万十市西土佐大宮1578
- * 活動分野：給油所および店舗の経営

- * 活動地区：四万十市大宮地区
- * 連絡先 (TEL)：0880-53-2100
- * 連絡先 (FAX)：0880-53-2102

活動をはじめた「きっかけ」

平成17年10月に幡多JA出張所の廃止が決定したことを受けて、地域住民の、「なくなつては困る、何とかして欲しい」という思いから、『農協事業継承委員会』を設立。

その後の検討により、株式会社設立の方針が決定。住民株主の募集に対して、137戸のうち108戸（うち地区外が12戸）と住民の大半の賛同を得て、株式会社として設立。

現在の主な取り組み

『みんなで作った“大宮産業”』

～大宮地区のライフライン維持のために～

* アドバイザー会議

株主の家族も含めた地域の代表者に集ってもらって（年3回程度）、要望や指摘をしてもらい、会社として応じられるように努力している。

* 宅配サービス・見守り事業

アドバイザー会議の要望を受けて、週1回の燃料配達だったものを、週2回の宅配サービスとして開始。現在は、毎日の宅配サービスのほか、見守り事業を実施。

* 地域の賑わいづくり（土曜夜市・感謝祭の実施）

学校が廃校になり、賑わいの場、また、集まる場がなくなったことから、外出の機会を創出するために、土曜夜市と感謝祭（年4～5回）を開催。

▼給油所



▼店舗



～活動団体の声～

減反政策により、耕作への意欲が失せていた大宮米を復活させ、現在、外商（1,000万円強の収益）につながっている（高知市や旧中村市内の学校給食、市民病院や宇和島方面など）。

地域資源および地域の水田を守りたいという気持ちと出荷先も確保できていることから、大宮米のブランド化を目指し、全国への販促活動も検討している。安定した収入を得ることで、「住民が安心して生活できるライフラインを維持」していきたいと考えている。